

■呼吸器科研修プログラム

1) 一般目標

日常診療で頻繁に遭遇する呼吸器疾患の適切な診断と対応ができるように、入院患者の受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力を身に付ける。

2) 行動目標

1. 身体所見、検査所見、放射線検査所見の異常から肺、上気道、胸膜における炎症性病変や腫瘍性病変を発見できる。
2. 咳、気管支喘息に対する治療ができる。
3. 呼吸器感染症(上気道炎、肺炎)の治療ができる。
4. 呼吸不全の初期治療ができる。
5. 悪性腫瘍の診断と治療方針決定及び化学療法が適切にできる。
6. 人工呼吸器及び非侵襲的人工呼吸(NIPPV)による呼吸管理ができる。

3) 研修方法

1. 入院患者を数名担当し、指導医・上級医とともに診療にあたる。
2. 指導医・上級医の指導のもとに外来患者の診療に参加する。
3. カンファレンスで受け持ち症例を提示する。
4. 病棟看護スタッフに担当患者の診断及び治療方針を随時説明する。
5. 担当した患者に関する文献をインターネットで検索し、科学的に吟味してカンファレンスで紹介し討論する。

4) 評価

1. EPOC2で評価する。
2. 当科独自の評価

呼吸器内科 週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	回診 病棟業務	回診 病棟業務	回診 病棟業務	回診 病棟業務	回診 病棟業務
				病棟カンファレンスの準備	
午後	気管支鏡検査	気管支鏡検査		病棟カンファレンス 気管支鏡検査	
	回診	回診 内科外科カンファレンス	回診	回診	回診